

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の交流や連携がコロナ禍以前のように取れていない。	以前のようにボランティアの方との交流や、イベントなどへの参加を行いたい。コロナ禍でも地域と交流できる機会を増やしたい。	外出やイベントの計画を立て、コロナ禍でも地域と交流できる機会を増やせるよう、地域の方やボランティアの方に頻繁に相談、話し合いをする。	12ヶ月
2	49	新型コロナウイルス感染症が流行してから日常的な外出支援が出来ていない。買い物や外食などの希望に添えていない。	感染症対策をしながら利用者様ひとりひとりの希望にそって外出を支援する。	外出計画を立て、大阪府下の感染者数を考慮しながら検討の上、実施する。	6ヶ月
3	33	終末期のあり方について協議し、看取りの体制を整えているが、看取りの事例がまだない。	利用者様本人や家族の希望に添った終末期を支援する。	現在、終末期の該当者はいないが、いつでも対応できるよう、医療機関と連携し研修を行い、看取りの体制作りを強化する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。